

2 救急安心電話相談について

（1）救急に関する判断に困った経験

◇「ある」が3割台半ば

県では、夜間や休日の急な病気やケガで、救急車を呼ぶべきか、救急病院へいくべきか迷ったときに看護師などに相談できる、「救急安心電話相談（#7009）」（平日・土曜18時～23時、日曜・祝日9時～23時）を行っています。

今後の事業内容などの検討の参考とするため、利用状況や県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問7 あなたは、あなた自身や家族が夜間や休日に急な病気やケガをした際に、救急病院へいくべきか、救急車を呼ぶべきかなど判断に困ったことがありますか。（○は1つ）

＜図表2-1＞救急に関する判断に困った経験



救急に関する判断に困った経験があるか聞いたところ、「ある」（34.9%）が3割台半ばとなっている。

「これまではないが、今後あるかもしれないと思う」（59.2%）は約6割で、「これまではなく、今後もないと思う」（4.6%）はわずかである。（図表2-1）

【地域別】

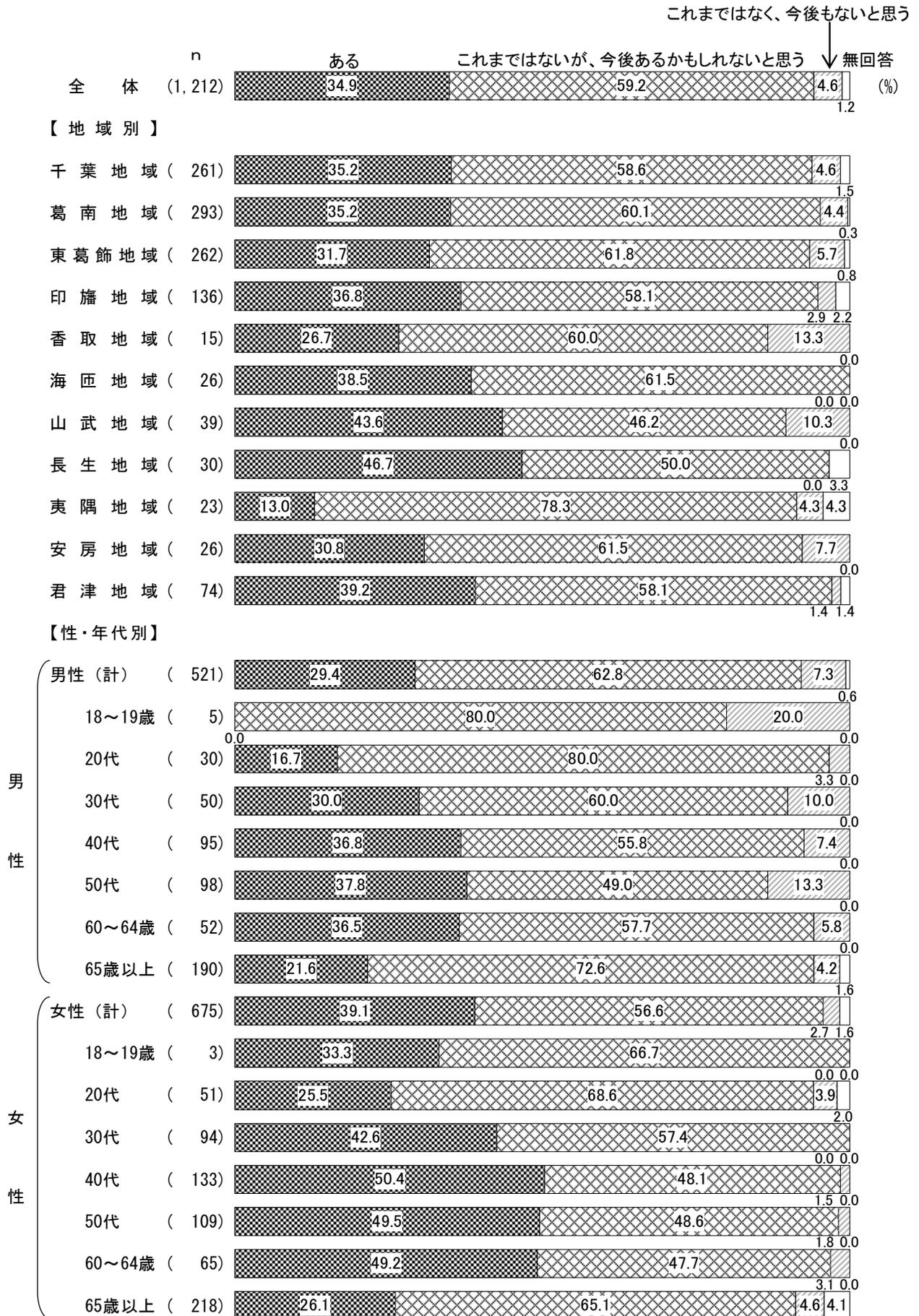
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表2-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「ある」は女性の40代（50.4%）が5割、女性の50代（49.5%）、60～64歳（49.2%）が約5割で高くなっている。

「これまではないが、今後あるかもしれないと思う」は男性の20代（80.0%）が8割、男性の65歳以上（72.6%）が7割を超えて高くなっている。（図表2-2）

<図表2-2>救急に関する判断に困った経験/地域別、性・年代別

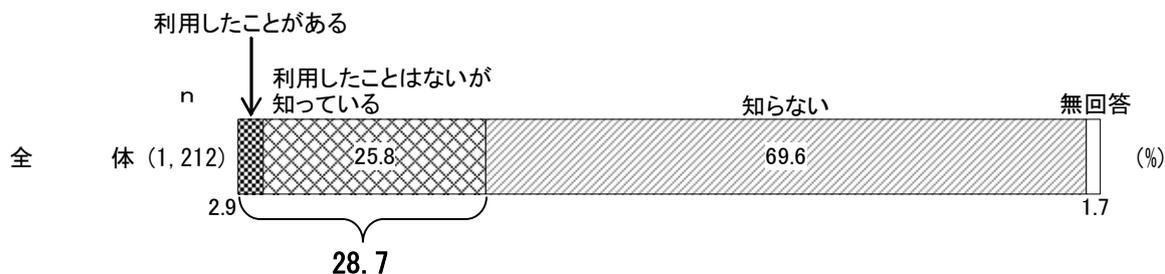


（2）「救急安心電話相談」の認知度

◇『知っている（計）』が約3割

問8 あなたは、救急車を呼ぶべきかなどの相談に対応する「救急安心電話相談（#7009）」を知っていますか。また、利用したことがありますか。（○は1つ）

＜図表2-3＞「救急安心電話相談」の認知度



「救急安心電話相談」の認知度を聞いたところ、「利用したことがある」（2.9%）と「利用したことはないが知っている」（25.8%）を合わせた『知っている（計）』（28.7%）が約3割となっている。

一方、「知らない」（69.6%）が約7割で高くなっている。（図表2-3）

【地域別】

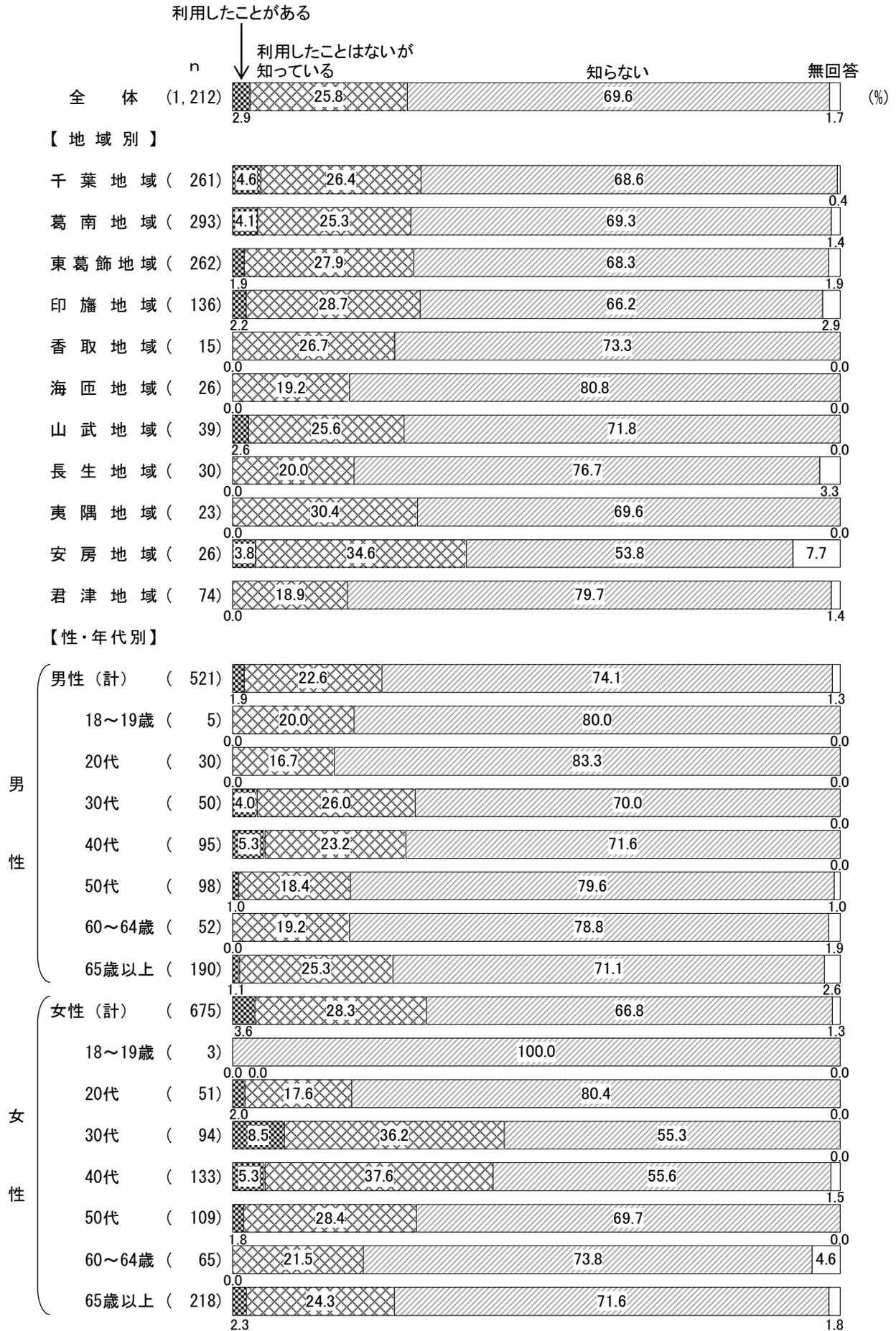
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表2-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性の30代（44.7%）が4割台半ば、女性の40代（42.9%）が4割を超えて高くなっている。

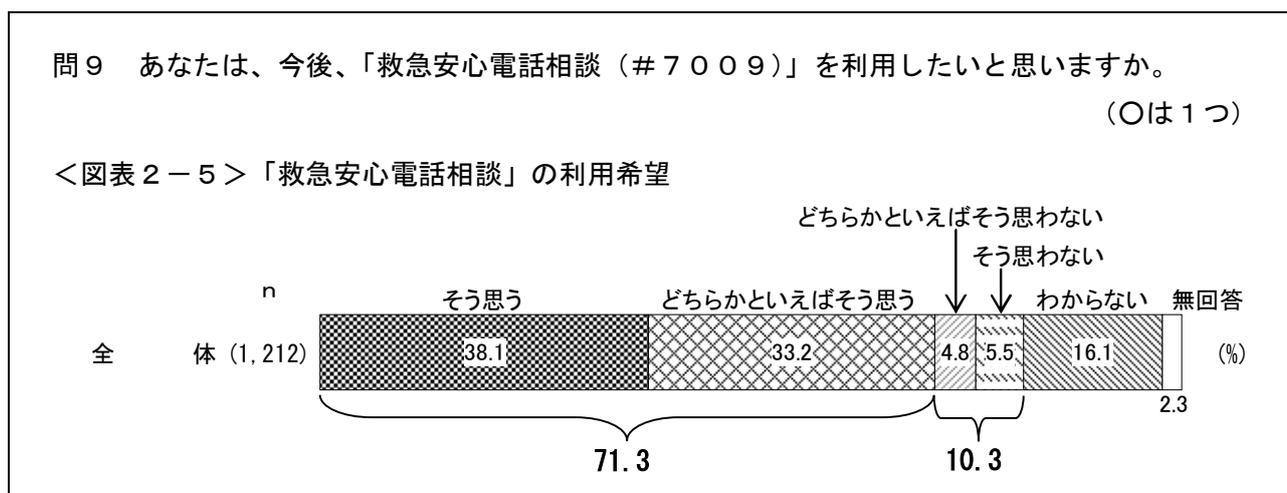
一方、「知らない」は男性の50代（79.6%）が約8割で高くなっている。（図表2-4）

<図表2-4> 「救急安心電話相談」の認知度／地域別、性・年代別



（3）「救急安心電話相談」の利用希望

◇『利用したい（計）』が7割を超える



今後、「救急安心電話相談（#7009）」を利用したいと思うか聞いたところ、「そう思う」（38.1%）と「どちらかといえばそう思う」（33.2%）を合わせた『利用したい（計）』（71.3%）が7割を超えて高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（4.8%）と「そう思わない」（5.5%）を合わせた『利用したいと思わない（計）』（10.3%）が1割となっている。（図表2-5）

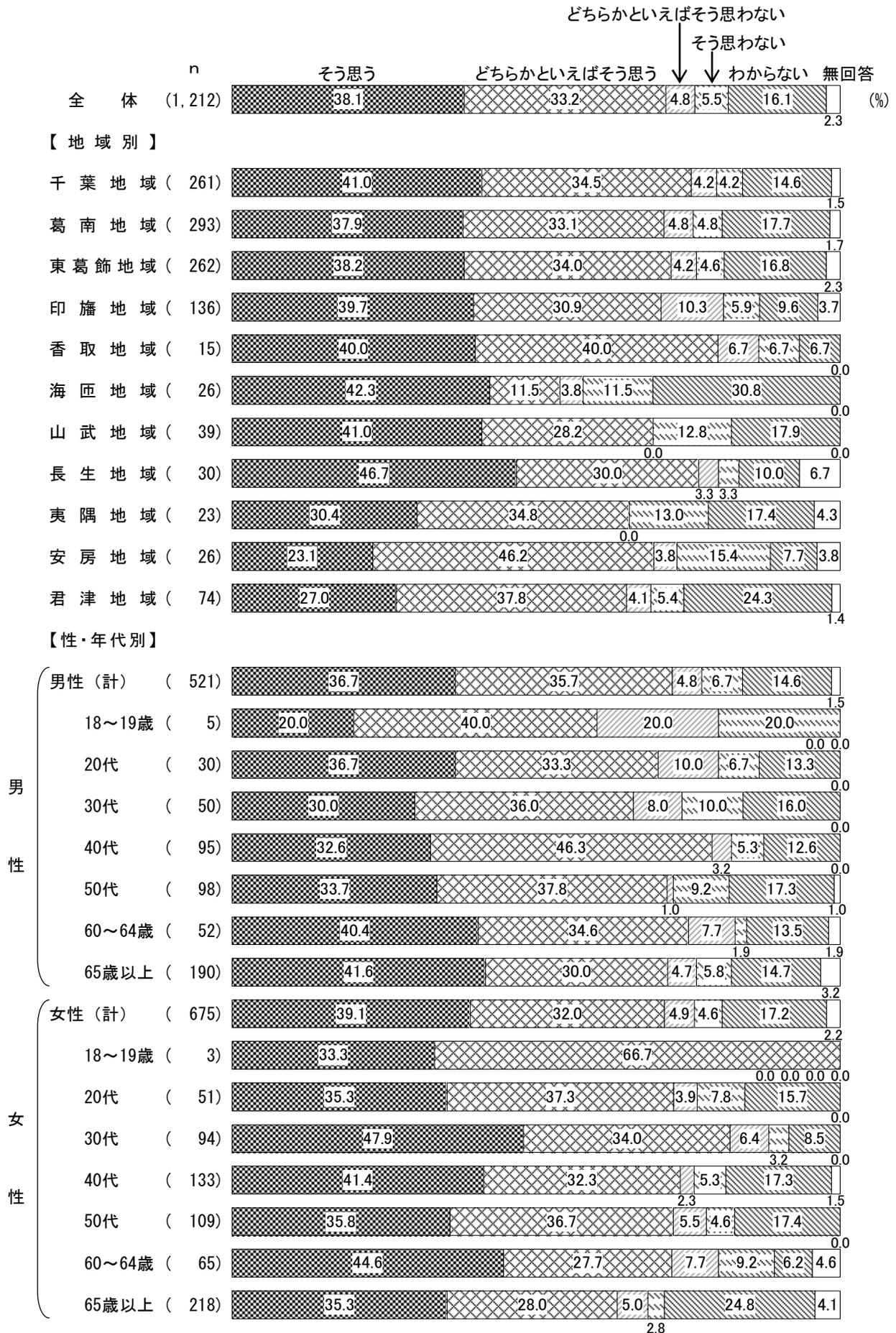
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表2-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用したい（計）』は女性の30代（81.9%）が8割を超えて高くなっている。（図表2-6）

<図表2-6> 「救急安心電話相談」の利用希望／地域別、性・年代別

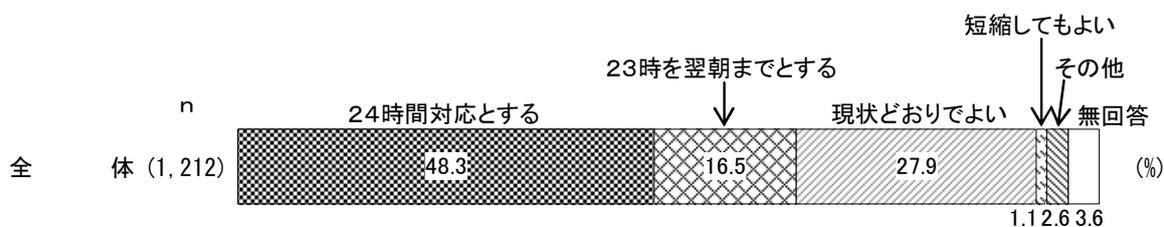


（４）「救急安心電話相談」の相談時間変更の必要性

◇「24時間対応とする」が約5割

問10 現在、「救急安心電話相談（#7009）」は平日・土曜18時～23時、日曜・祝日9時～23時の時間に対応しています。あなたは、相談時間を変更する必要があると思いますか。
（○は1つ）

＜図表2-7＞「救急安心電話相談」の相談時間変更の必要性



現在の「救急安心電話相談（#7009）」の相談時間を変更する必要があると思うか聞いたところ、「24時間対応とする」（48.3%）が約5割で最も高く、以下、「現状どおりでよい」（27.9%）、「23時を翌朝までとする」（16.5%）が続く。（図表2-7）

【地域別】

地域別にみると、「現状どおりでよい」は“安房地域”（53.8%）が5割台半ばで高くなっている。
（図表2-8）

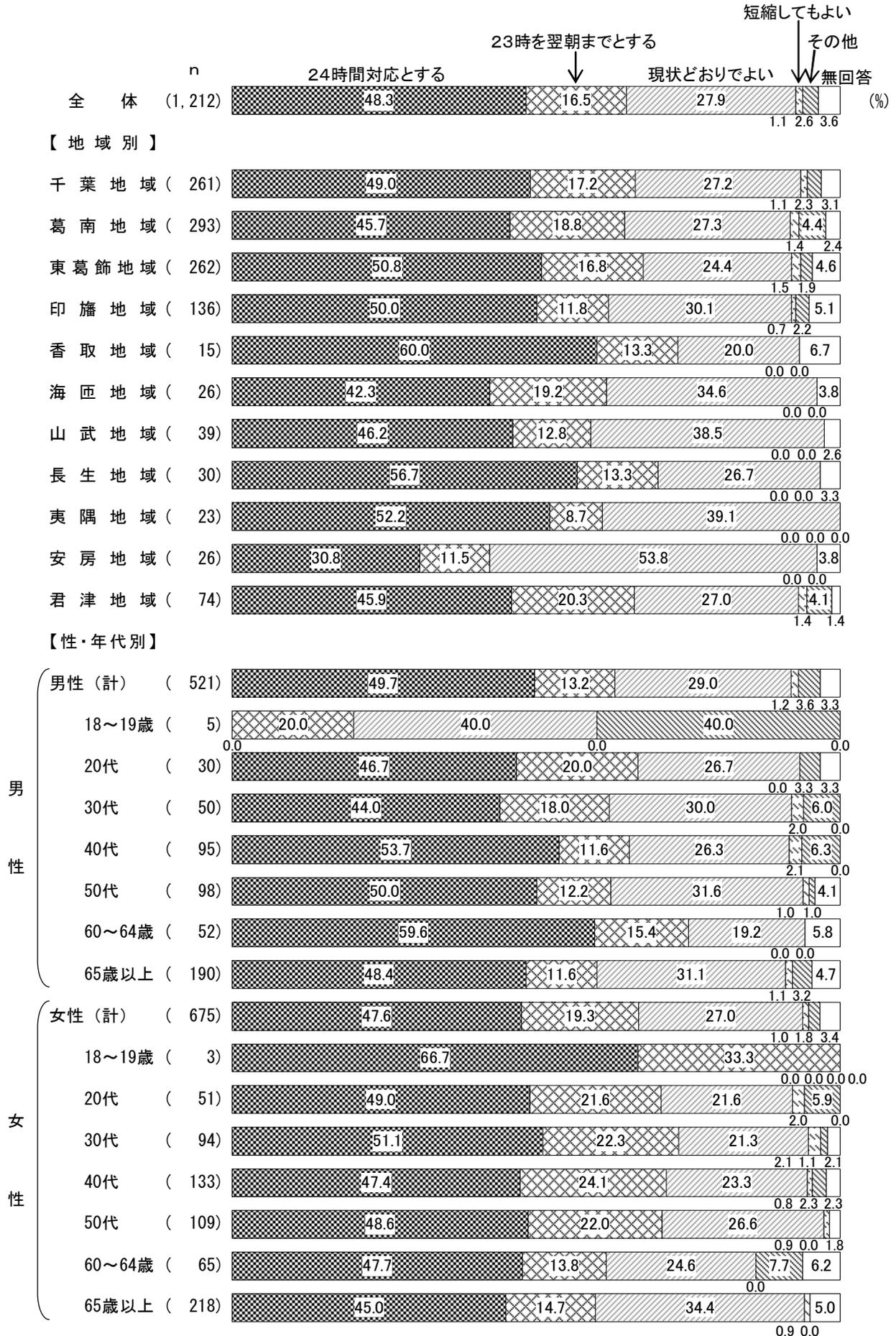
【性・年代別】

性・年代別にみると、「23時を翌朝までとする」は女性の40代（24.1%）が2割台半ばで高くなっている。

「現状どおりでよい」は女性の65歳以上（34.4%）が3割台半ばで高くなっている。

（図表2-8）

<図表2-8> 「救急安心電話相談」の相談時間変更の必要性／地域別、性・年代別



このほかに、「救急安心電話相談（#7009）」やここまでの質問（問7～問10）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、227人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「救急安心電話相談（#7009）」の自由回答（抜粋）

- こういうサービスがあることを知りませんでした。おそらくまだまだ認知度は低いと思います。本当に必要な人に適切に救急車が利用されるよう、学校や病院、自治体のイベント等で広げていく必要性を感じます。（女性、30代、葛南地域）
- 救急安心電話相談をもっとアピールするべきと思う。千葉県内に在る携帯電話ショップ窓口などに目立つよう置けないだろうか。（男性、30代、君津地域）
- 広報活動を行っていると思いますが、市民の目の届くところ、例えば駅や大型スーパーマーケットの掲示板、町会等にチラシで周知する。（男性、65歳以上、印旛地域）
- 冷蔵庫に貼れるマグネット式の広告や、千葉テレビの画面の下に出ていると、お年寄りがあわてていてもすぐに連絡ができると思います。（女性、40代、君津地域）
- トライアルで24時間対応にしてみてもよいかもしれないですね、深夜にどれだけ連絡が来るかわからないので。（男性、30代、東葛飾地域）
- 夜間など急に具合が悪くなる事もあるので、翌朝までだとありがたいと思う。（女性、30代、香取地域）
- 曜日によって「#7009」の時間が違っていると覚えられない。24時間にしてほしい。（女性、65歳以上、東葛飾地域）
- 救急車の出動回数がたいへんな数になっていると聞きます。消防と電話相談の両者の意見交換はなされているのでしょうか。バラバラでは実情は変わらない気がします。（女性、65歳以上、東葛飾地域）
- 子どもの救急相談について、「#8000」との使いわけを知りたい。（男性、40代、千葉地域）
- 小さい子どもの急変も対応して頂けるならとても助かる。介護する側としても利用していきたい。（女性、50代、東葛飾地域）